

第2期子ども・子育て支援事業計画の実績について

1. 計画の趣旨

第2期江別市子ども・子育て支援事業計画「えべつ・安心子育てプラン（以下「プラン」という。）」は、市が展開するさまざまな子育て関連施策の充実を図り、子育て環境を整備することにより、江別市の子どもが健やかに育ち、親が安心して子どもを産み、育て、就業と子育ての両立ができる社会の実現のため、5か年の基本目標や取り組みを取りまとめたものです。（令和2年3月策定 計画期間：令和2～6年度）

2. 計画の位置づけ

- 子ども・子育て支援法第61条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」
- えべつ未来づくりビジョン〈第6次江別市総合計画〉の個別計画

3. 基本目標

プランにおいては、基本理念「みんなで協力、子育て応援のまち・えべつ」を実現するために、次の3つの基本目標を柱として総合的に施策を展開しています。

- ① 「子どもが笑顔で育つ」まちづくり【子ども自身の育ちを支援】
- ② 「安心して子どもを産み育てる」まちづくり【子育て家庭への支援】
- ③ 「子育てを地域で応援する」まちづくり【子育て環境の充実】

4. プランにおける量の見込みと提供体制の実績

各施策、事業等の量の見込みと提供体制の実績は、以下のとおりです。

（1）幼児期の教育・保育の提供体制等の実績

（各年度4月1日時点）

区分	令和2年度					令和3年度					
	1号認定 幼稚園 (教育)	2号認定 (保育)			3号認定 (保育)		1号認定 幼稚園 (教育)	2号認定 (保育)		3号認定 (保育)	
	3-5歳			1-2歳	0歳	3-5歳			1-2歳	0歳	
	教育のみ	教育希望	保育認定	保育認定		教育のみ	教育希望	保育認定	保育認定		
プランにおける量の見込み	1,016	594	913	732	182	1,024	594	974	775	180	
実績【認定児童数】	1,578		941	763	159	1,558		978	773	154	
プランにおける提供体制①	1,717	895		620	187	1,717	940		677	193	
実績【利用定員】②	1,717	897		649	189	1,749	950		684	207	
②-①	0		2	29	2	32		10	7	14	
プランにおける量の見込みと 実績【認定児童数】とのかい離率	▲ 1.98		3.07	4.24	▲ 12.63	▲ 3.70		0.42	▲ 0.25	▲ 14.44	

(各年度4月1日時点)

区分	令和4年度				
	1号認定 幼稚園 (教育)	2号認定 (保育)		3号認定 (保育)	
	3-5歳			1-2歳	0歳
	教育のみ	教育希望	保育認定	保育認定	
プランにおける量の見込み	1,011	586	962	745	177
実績【認定児童数】	1,551		1,041	812	179
プランにおける提供体制①	1,717		962	725	201
実績【利用定員】②	1,741		1,159	774	216
②-①	24		197	49	15
プランにおける量の見込みと 実績【認定児童数】とのかい離率	▲ 2.88		8.22	9.00	1.13

近年の子育て世帯の転入増加や女性の就業率の上昇等による保育需要の高まりに対応するため、利用定員の拡大を行いました。

今後とも、プランとの整合を図りつつ、待機児童の状況を把握しながら、提供体制の確保に努めてまいります。

(2) 地域子ども・子育て支援事業の提供体制等の実績

①利用者支援事業

区分	単位	令和2年度			令和3年度		
		プラン ①	実績 ②	②-①	プラン ①	実績 ②	②-①
量の見込 提供体制	箇所	3	3	0	3	3	0

子育てひろば「ぽこあぽこ」及び市役所子育て支援室に専任の職員3名を配置し、子育てサービスや教育・保育施設の利用相談等、様々な子育て相談に対応しているほか、地域あそびのひろばや保健センターを会場に実施している出張相談等も行うなど、概ね充足しています。

②地域子育て支援拠点事業

区分	単位	令和2年度			令和3年度		
		プラン①	実績②	②-①	プラン①	実績②	②-①
量の見込	人(月)	10,000	4,893	▲ 5,107	10,000	4,581	▲ 5,419
提供体制	箇所	8	8	0	8	8	0

公設・民間合わせて8か所の子育て支援センター（江別地区3か所・野幌地区4か所・大麻地区1か所）において、親子の交流、遊びの場の提供、子育て相談、講習会等の事業を行っています。

利用は新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少し、プランとの比較では令和2年、3年ともに5,000人程度下回りました。

今後とも地域の実情に応じ、事業内容の充実に努めてまいります。

③妊婦健康診査

区分	単位	令和2年度			令和3年度		
		プラン①	実績②	②-①	プラン①	実績②	②-①
量の見込	人(年)	606	659	53	596	646	50
提供体制	回	8,484	7,720	▲ 764	8,344	7,571	▲ 773

④乳児家庭全戸訪問事業

区分	単位	令和2年度			令和3年度		
		プラン①	実績②	②-①	プラン①	実績②	②-①
量の見込 提供体制	人(年)	606	706	100	596	705	109

妊婦や乳児の健康状態や生活状態を把握して適切な支援につなげるための事業です。妊婦健康診査は、プランと比較して利用者はプランを上回っていますが、受診回数はプランを下回っている状況です。

乳児家庭全戸訪問事業は、子どもが生まれた世帯や転入世帯が増加したことにより、実績数がプランを上回りました。

今後とも関係機関と連携しながら、事業を推進してまいります。

⑤養育支援訪問事業

区分	単位	令和2年度			令和3年度		
		プラン①	実績②	②-①	プラン①	実績②	②-①
量の見込 提供体制	人(年)	210	207	▲ 3	210	205	▲ 5

⑥子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

区分	単位	令和2年度			令和3年度		
		プラン①	実績②	②-①	プラン①	実績②	②-①
量の見込 提供体制	人(年)	35	0	▲ 35	35	6	▲ 29

養育支援訪問事業及び子育て短期支援事業は、養育支援が特に必要な家庭に対して短期集中的に養育支援を行う事業です。

養育支援訪問事業、子育て短期支援事業はいずれもプランを下回りました。

引き続き様々な相談に対応する中で、適切なサービス提供につなげてまいります。

⑦ファミリー・サポート・センター事業

区分	単位	令和2年度			令和3年度		
		プラン①	実績②	②-①	プラン①	実績②	②-①
量の見込 提供体制	人(週)	30	12	▲ 18	30	8	▲ 22

子育て支援に関する援助を依頼する会員と提供する会員のマッチングにより、子育てを地域で支える仕組みを推進する事業です。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用が低下しプランを下回っています。

⑧預かり保育・一時預かり事業

【預かり保育】（幼稚園における在園児の預かり）

区分	単位	令和2年度			令和3年度		
		プラン ①	実績 ②	②-①	プラン ①	実績 ②	②-①
量の見込 提供体制	人(年)	101,400	80,995	▲ 20,405	104,800	83,940	▲ 20,860

【一時預かり】（保育園・子育てひろばにおける在園児以外の預かり）

区分	単位	令和2年度			令和3年度		
		プラン ①	実績 ②	②-①	プラン ①	実績 ②	②-①
量の見込 提供体制	人(年)	8,700	7,980	▲ 720	8,400	5,285	▲ 3,115

⑨延長保育事業

区分	単位	令和2年度			令和3年度		
		プラン ①	実績 ②	②-①	プラン ①	実績 ②	②-①
量の見込 提供体制	人	1,020	996	▲ 24	1,070	1,116	46

預かり保育及び一時預かりの利用は、新型コロナウイルス感染症に伴う利用自粛などにより、いずれもプランを下回りました。また、延長保育の利用は、保育認定の提供体制の増加に連動し、昨年度よりも増加しています。

引続きニーズの把握等に努め、必要な対応を検討してまいります。

⑩病児・病後児保育事業

区分	単位	令和2年度			令和3年度		
		プラン ①	実績 ②	②-①	プラン ①	実績 ②	②-①
量の見込 提供体制	人	1,500	325	▲ 1,175	1,500	912	▲ 588

令和2年度から1施設増加し、市内保育施設2箇所運営費の一部を補助することにより、子どもの病中・病後の保育を提供しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で利用制限を行った時期もあり、令和2年度の実績はプランを大幅に下回りましたが、令和3年度は回復してきています。

⑪放課後児童クラブ

区分	単位	令和2年度			令和3年度			
		プラン①	実績②	②-①	プラン①	実績②	②-①	
量の見込	低学年	人	915	773	▲ 142	995	826	▲ 169
	高学年	人	110	36	▲ 74	115	102	▲ 13
提供体制【利用定員】		人	785	785	0	890	861	▲ 29

小学生の子を持つ保護者の就労支援とともに、放課後の児童の生活の場の確保及び健全育成を目的として、公設及び民設により放課後児童クラブを実施しています。

令和3年度からは新規クラブ開設などにより利用定員が増加していますが、プランを下回っています。保育ニーズの高まりに伴い今後増加が見込まれることから、引き続き、的確にニーズを把握する中で、提供体制の確保に努めてまいります。

5. まとめと今後の展開

- 令和2年度及び令和3年度は、出生数に改善が見られたことにより、妊婦・新生児に関する事業の実績が向上しました。
- 転入世帯等の増により、未就学児及び児童数もプランの推計子ども人口を上回っており、今後においては、プランとの整合性を図りつつ、子どもを取り巻く環境・女性の就労率向上等の社会情勢の変化に柔軟に対応しながら子育てに関する施策を展開してまいります。
- 令和4年度は計画の中間年に当たることから、国の基本指針に基づき、見直しの必要性について検討してまいります。

6. その他

関連する主な事業の実績は、別紙資料のとおりです。